



エースファーム

オーナー	株式会社エース
水田面積	15.5アール
保証量	玄米698kg
形態・品種	特別栽培コシヒカリ
ブランド	「海」
Co2回収	約1550kg



高橋秀紀

6月19日から中干しを始めました。中干しには土中に酸素を補給したり、ガス抜きなど根の活性化に効果があります。今年も、6月7日に梅雨入りはしたものの雨が少なく、ほ場も良く乾き根もしっかりと張り順調な育成状況です。日南町は、6月末から7月中旬頃まで、ほたるの季節を迎えます。特に、福万来のヒメボタルは大変きれいで、多くの見学者が訪れます。

6月の稲の状態と作業内容

稲の生長は速く、この時期は根元からどんどん分かれて増えていく「分（ぶん）けつ」が始まります。稲には元々節があり、この節から分枝がでてくることをこのように呼び、また穂になるものとそうでないものを早めに分け、過剰にならないように分けつが適正数になったら止めます。

作業としては日々草刈りの毎日ですが奥が深く、草刈りの頻度次第で植生が変わります。草刈りをしないと背丈の高い草がどんどん生えてきて、最終的にススキや雑木が生えてきて山に戻ろうとします。

また刈った草を放置すると自然分解が始まり、その草を目当てにミミズが寄ってきて、ミミズを餌にするモグラが畦に穴を掘って、畦が壊れやすくなってしまいます。その為、刈った草は野焼きしたり、来年の緑肥にしたり様々です。



草刈り



草よせ



分けつ



中干しの水田